

うさぎぐみだより



2025年度 6月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

気温が高くなり、徐々に春から夏らしい天気になってきました。子どもたちも「外いきたい!」「まだ遊びたい!」「ご飯食べたい!」「まだ食べたくない!」と4月当初より自己主張がハッキリとしてきたように思います。子どもたちの気持ちに寄り添いながら、自分の思いを受け止めてくれる、応えてくれるという体験をこの時期にたくさん重ねていけたらと思います。6月は水遊び開きもあり、より活発に遊んでくれることを私たちも楽しみにしています。

先日は懇談会に参加していただきありがとうございました。

子どもの目線で考える

子どもたちは椅子の上に立ったり、机に登ったりするのが大好きです。もちろん側に保育者がいて転落して怪我のないように見守っていますが、「危ないからダメ」ではなく「なんで登ってみたいくなるのかな?」とその様子を見ていたところ、机の高さは子どもの身長のおよそ半分ほど。そこに登れば見える視界はいつもの5割増しということになります。だいぶ遠くまで見えるようになります。

大人でも身長のおよそ半分の高さの台に登ったら遠くまで見えていつもと違った気分になると思います。まだ自分自身での危険予測は難しいので保育者が言葉を添えながら気持ちに寄り添い、同時に危ない箇所について少しずつ伝えていきます。確かに危険なことをすると大人が来てくれるから面白くてやっている、という側面もあるとは思いますが…。またワクワクドキドキが大好きな年齢でもあります。危険のない範囲でやらせてあげたいと思っています。



なるほどね!

プランターは植物を植えるもの、お皿はままごとに使うもの…と大人は思ってしまうがちですが、子どもたちの姿を見ていると「確かに!」と思うことも沢山あります。まだ野菜を植えていないプランターを見つけると中に入ってバスタブにして遊び、中で身体を洗っていたり、ままごと用のお皿も落とした時にクルクル…と回る様子がコマの様に見えて(まだ指で回せないのに)何度も落として回したりと、私たちより遊びを拡げていくのが上手い場面に遭遇するときもあります。

その様子を見て保育者も一緒にお皿をコマの様に回してみると「色つきのお皿の方が綺麗に見えるから人気」「大きなお皿は動きが派手だが色が地味で不人気」など、「なるほど…」と新たに気付かされることもあります。固定概念のない子どもたちに応えていける様に日々心掛けています。

お知らせ

- ・気温があがり汗ばむ季節になりました。着替えは多めにご用意ください。
- ・また、長袖等の入れ替えも同時をお願いいたします。
- ・疲れがでやすい時期です。体調の変化には気をつけていきましょう。
- ・お友だちとの思わぬ接触がありますので、爪はこまめに切ってあげてください。

